

報道関係各位

地域のニーズと連動した映画人育成「半農×半映画」プロジェクト
映画俳優・脚本家の良質な教育環境を提供



東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-20-8-BF

株式会社映画 24 区

代表取締役 三谷一夫

映画人の育成を手がける株式会社映画 24 区（本社：東京都渋谷区 代表 三谷一夫）は、俳優や脚本家を志す人たちの教育環境・鍛錬の場を、地域のニーズと組み合わせたスキーム「半農×半映画」プロジェクトとして 11 月より提供致します。

【プロジェクト背景】

本企画の舞台となる山形県鶴岡市では、変化に富む四季と地形がもたらす多様な食材産物を誇る「食の宝庫」である特色、そして広大な映画ロケ施設やコミュニティ型映画館など豊富な映画資源を擁している特色らを互いに融合させ、映画を活かした地域文化情報の発信を行っています。この度、「半農×半映画」プロジェクトとして若手俳優や脚本家の育成・定着に地域をあげて取り組むとともに、これらの取り組みが地域の魅力を高め、観光の振興や商店街の活性化、農業の担い手づくりなどに繋がることにより交流人口の拡大、定住・雇用促進となることを目論んでいます。

【半農×半映画プロジェクトとは】

将来、映画界で活躍が期待される俳優や脚本家が地方での仕事に携わっていただきながら、一方で映画人としての技術を高めるための良質な教育・鍛錬の環境を行政主導で支援していくという取り組みです。成果の発表の場として、富樫森監督総合監修のもと、短編オムニバス映画の製作も予定しています。具体的には 11 月、12 月に俳優・脚本家のワークショップを 2泊3日の合宿スタイルで実施。カリキュラムの中には農作業体験が盛り込まれており、参加者は地元鶴岡の実りある風土を体感、魅力を発見しながら各々の本業においても何か「気付き」を得ることができる内容となっています。

三谷一夫（映画 24 区代表）コメント

‘東京’というまちは映画ビジネスには適していますが、将来の映画界を担う俳優や脚本家たちがゆっくりと時間をかけて技術を磨く環境としてはあまり良いとは言えません。

鶴岡市とはこれまで数回にわたり俳優や脚本家養成のワークショップを繰り返し行いながら、映画における人材育成の大切さに関する理解を互いに深めており、実際に映画制作を通して有能な俳優が地元から育っています。今回の企画は、映画 24 区が取り組む事業コンセプトの 1 つである「映画を活用した地域活性」を人材育成という側面から具体的に実践できる機会。現在は全国各地で映画のロケ地勧誘に取り組んでいますが、鶴岡市のように地域自らが人材の育成に取り組むケースはまだ多くはありません。今回を機に、映画人の育成を通じて地域を活性化できる新しいモデルを全国に発信していきたい。

<本件リリースに関するお問い合わせ>

株式会社映画 24 区 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-20-8-BF

TEL 03-3497-8824/FAX 03-3497-9824 担当：長岐

Mail info@eiga24ku.jp 映画 24 区 HP/<http://eiga24ku.jp/>